

平成 29 年 4 月 26 日
日本下水道事業団

— 下水道技術の新たな進化・発展に向けて —

平成 29 年度からスタートする新たな
JS 技術開発基本計画（4 次計画）を策定しました

日本下水道事業団（JS）では、この度、平成 29 年度からの 5 ヶ年間を対象とする「JS 技術開発基本計画（4 次計画）」を策定しました。本計画は、JS における技術開発の基本的な方針や方向性、具体的に取り組むべき技術分野や開発課題、実施方策を示すものです。本計画の重点ポイントは、以下のとおりです。

（1）計画期間

第 5 次中期経営計画と整合を図り、平成 29～33 年度の 5 ヶ年としました。

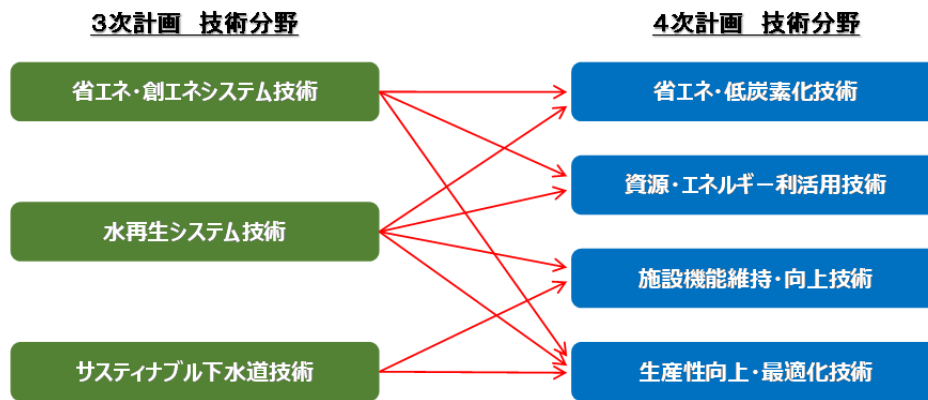
（2）JS 技術開発の基本理念

JS の新たな基本理念や事業推進の 2 本柱を踏まえて新たに設定しました。

JS の技術開発は、下水道ソリューションパートナーとして「地方公共団体のニーズに応える技術の開発・実用化」を促進するとともに、下水道ナショナルセンターとして「下水道事業全体の発展に寄与する先進的・先導的な技術の開発」を推進することにより、良好な水環境の創造、安全なまちづくり、持続可能な社会の形成に貢献する。

（3）技術分野

第 5 次中期経営計画や下水道新技術ビジョンを踏まえ、3 次計画における技術分野を継承・発展させ、今後、JS 技術開発が取り組むべき「技術分野」として、「省エネ・低炭素化技術」、「資源・エネルギー利活用技術」、「施設機能維持・向上技術」、「生産性向上・最適化技術」の 4 分野を定めました。



(4) 重点実施施策

技術開発にあたり重点的に取り組む6つの施策を定めました。

- ① 基礎的な開発課題の実施
- ② 新技術導入に関する受託支援メニュー化
- ③ 新技術の事後評価調査・技術評価の充実化
(事後の技術確認制度、技術評価(簡易型)の創設)
- ④ 受託事業における技術的情報・ノウハウの体系化
- ⑤ 技術開発成果の技術基準類への反映
- ⑥ プロジェクト支援・エンジニアリング支援の拡充

JSでは、今後、本計画を着実に実行し、下水道技術を進化、発展させることにより、地方公共団体のニーズに応えるとともに、下水道事業全体の発展に貢献します。

【添付資料】

- 資料1:「JS技術開発基本計画(4次計画)について」
※ 本計画の策定経緯、計画内容のポイントを箇条書きしたもの
- 資料2:「JS技術開発基本計画(4次計画)の概要」
※ 本計画の内容、ならびに、開発課題と新たに創設する制度(技術評価(簡易型)、事後の技術確認)の概要を各1枚にまとめたもの
- 資料3:「JS技術開発基本計画(4次計画)」
※ 本文および付録
- 資料4:「参考資料:開発課題の概要」
※ 開発目標毎に開発課題の概要、開発課題に関連する図・写真をまとめたもの

(問い合わせ先)

技術戦略部 上席調査役 橋本 敏一

TEL : 03-6361-7844

FAX : 03-5805-1828

E-mail : Hashimotot@jswa.go.jp